

カセットボンベが原因の爆発事故が発生しました

令和3年（2021年）4月に環境センターで爆発が起り、設備が大破するという事故が発生しました。カセットボンベが原因と思われます。5月にも同様の爆発事故が発生し、ごみの受け入れが一時出来ない事態となりました。

このように、カセットボンベやスプレー缶類の不適切な廃棄は大規模な爆発、火災事故を引き起こします。

中身を使い切ったカセットボンベやスプレー缶類はガス抜きを行い、「燃えないごみ」として指定された曜日にお出しください。

* ガス抜きの手順

1. 製品を最後まで使い切る。
2. 缶を振って音を聞くなどして、液体が残っていないか確認する。



液体が残っていれば「シャカシャカ」「ちゃぶちゃぶ」などの音がします。

3. 火気のない風通しの良い屋外で、完全にガスを出し切る。

お知らせ

環境衛生課からの
清水行政局 建設環境室

「ごみ分別すれば資源」

盆前の「し尿のくみ取り」

盆までにし尿のくみ取りを希望される方は、7月16日（金）までに、次のし尿収集業者にお申し込みください。

※7月16日（金）を過ぎると、盆までにくみ取りができないことがあります。

※収集業務は8月13日（金）から8月18日（水）まで休業します。

● 吉備・金屋地域

・ 上田衛生 ☎52・4582

・ (有) 武田清掃 ☎32・2391

● 清水地域

・ (有) 武田清掃 ☎32・2391

注射器などの

医療系廃棄物は排出禁止

プラスチックごみの中に注射器（インスリン注射器なども含む）が混入されていることがあります。こういった危険物などが混入すると、プラスチック収集場の手作業で選別する作業員がけがをしたり感染症にかかったりする恐れがあるなど、大変危険です。絶対に入れないでください。

家庭から出る

燃えるごみの収集量

令和3年（2021年）4月／約315トン
前月から約2トンの減少

有田川町の家庭から出る燃えるごみや燃えないごみは環境センターで処理されており、その運営費の一部を分担金として支払っています。分担金はごみ搬入量と人口に基づいて計算されます。

生ごみの水切りやコンポスト容器の利用など、ごみ減量によって環境にも町財政にもエコな暮らしを目指しましょう。

また、「注射器（針のない注射器・インスリン注射器なども含む）」「注射針（血糖値測定用針なども含む）」「針付きのチューブ類（輸血ラインなど）」などの医療系廃棄物は地域のごみ集積所に出せません。受け取った医療機関や薬局・薬店に引き取ってもらってください。詳しくは環境衛生課までお問い合わせください。

ごみの分別にご理解とご協力をお願いします。